

かていがくしゅうのてびき (1・2ねんせい)

かていがくしゅうのてじゅん

- (1) テレビをけて、トイレをすませ、しゅうちゅうしましょう。
- (2) つくえのうえなどを きれいに かたづけてしましょう。
- (3) べんきょうするじかんを きめましょう。
- (4) ただしいしせいでべんきょうしましょう。
- (5) しゅくだいと おんどくを まいにち しましょう。
- (6) しゅくだいがおわたたら、^{じしゅがくしゅう}自主学習することも いいとおもいます。
- (7) おわたたら、あしたの じゅんびを しましょう。

★ ^{じしゅがくしゅう}自主学習ではこんなことを

《こくご》

1 ^{おんどく}音読 (本よみ)

- ^{いまべんきょう}今勉強しているところを^{なんかいよ}何回読むか^{じぶん}自分できめて、^{こえ}声を出してよみましょう。こくごのきょうかしょが、すらすらよめるように ^{れんしゅう}れんしゅうしましょう。
- よんだら、きょうかしょや^{おんどく}音読カードによんだしるしをつけましょう。

2 もじのれんしゅう

- ならったひらがなや カタカナ、かんじを ^{ただしく}ただしく ^{かけるように}かけるように ^{かきじゅんに}かきじゅんに ^ききをつけてれんしゅうを しましょう。
かんじには ^{よみがな}よみがなをつけましょう。

3 にっき・さくぶん

- ならったかんじやかなをつかってみじかいぶんをつくりましょう。
- 1ぶんからはじめて2ぶん3ぶんとふやしていきましょう。
- おもったことやきづいたことをいれて ^{あそんだこと}あそんだことや^{たのしかった}たのしかったことを ^{かきましょ}かきましょ。
- 「 」をただしくつけてかいわぶんをいれたぶんをかきましょ。

4 どくしょ

- えほんやものがたり、いろいろなしゅるいのほんをよみましょう。

《さんすう》

1 きょうかしょやドリルのもんだい

- そのひにべんきょうしたもんだいを、いえでもれんしゅうしましょう。
- まちがえたこたえは けさずに あかで なおしましょう。
- まちがえたもんだいにはしるしをつけておきましょう。くりかえしおなじもんだいをとくときは、しるしのついたもんだいからといて、まちがいをくりかえさないようにしましょう。

2 プリントやテストのもんだい

- まちがえたもんだいは、なんどもくりかえしてしましょう。
- さんすうのもんだいをつくってみましょう。
(たとえば、たしざん、ひきざん、かけざんになるもんだい)

《そのた》

- いえにある もんだいしゅうをするのもいいですね。
(こたえあわせをして、まちがったところはきちんとなおしましょう。)
- 上にかかれていない がくしゅうをじぶんでかんがえてするのもよいことです。

【 たとえば、こんながくしゅうもあります。 】

- ◆きょうかしょを うつす。
- ◆詩をかいたり おぼえたりする。
- ◆いきものを かんさつする。
- ◆じてんやずかんで しらべる。

